

### 1. 単元目標

- 世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。
- 名前を言って挨拶をし合う。
- 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶をしようとする。

### 2. 言語材料

○ Hello. Hi. I'm (Hinata). Goodbye. See you.

○挨拶(hello, hi, goodbye, see you), friend, I, am

### 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

### 4. 単元計画(2時間)

時	目標(◆)と主な活動(【 】, ○)【 】= 誌面化されている活動	◎評価の観点(方法)
1	<p>◆世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○外国語活動の時間に、どのような活動をしていくのかを知る。 【Let's Watch and Think】p.2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像資料を視聴し、世界にはさまざまな国があり、国の様子や言語や挨拶も違うことに気付く。</li> </ul> <p>○世界のさまざまな言語で挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室内を自由に歩き、友達とさまざまな国の言葉で挨拶をし合う。</li> </ul> <p>○挨拶をして自分の名前を言い、名札をもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者に挨拶をして自分の名前を言い、指導者から名札を受け取る。</li> </ul> <p>【Let's Chant】Hello! p.3</p>	※外国語活動第1時であることから、目標に向けての指導は行うが、評価の記録は残さない。
	<p>◆世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫しながら名前を言ってあいさつを交わそうとする。</p> <p>【Let's Watch and Think】p.2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像資料で登場人物の挨拶と名前(自国の言葉と英語)を聞く。</li> </ul> <p>【Let's Listen】p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶を聞いて登場人物と国旗を線で結ぶ。</li> </ul> <p>【Let's Chant】Hello! p.3</p> <p>○パス・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボール等を順に回し、指導者と挨拶を交わし自分の名前を言う。</li> </ul> <p>【Activity】p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自由に歩いて、友達と挨拶を交わし名前を言い合う。</li> </ul>	<p>◎世界には、さまざまな言語があることに気付いている。 (行動観察/振り返りカード分析)【気】</p> <p>◎名前を言って挨拶をし合っている。 (行動観察・振り返りカード点検)【慣】</p> <p>◎相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わしている。(行動観察・振り返りカード点検)【コ】</p>

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。この時、児童は英語での挨拶の仕方を知らないと思われる。指導者は、Hello.と言いながら、児童にその通りに返すよう促すとよい。	
10分	○外国語活動の時間に、どのような活動をしていくのかを知る。	・テキストの表紙などから気付いたこと等を自由に発表させ、テキストのタイトル「Let's Try!」に込められた願いにも触れながら、これから行う外国語活動への意欲や期待が高まるようにする。	児童用テキスト デジタル教材
	<p>「Let's Try!」というタイトルについて “Let's”とは、話し手も聞き手も含めてみんなでという意。 “Try”は、間違ってもいいからやってみるという意味。外国語活動では、間違いを恐れず、みんなで外国語を使って互いの気持ちや考えを伝え合おうとすることを大切にしたい。そのためにも、指導者自ら外国語を使うことを心掛けたい。</p>		
10分	【Let's Watch and Think】P. 2 ・映像資料から、世界にはさまざまな国があり、国によって言語や挨拶の仕方が違うことに気付く。	・世界地図や登場人物等に目を向けさせ、児童の興味を喚起しながら映像資料の視聴、につなげる。 ・さまざまな国の様子や、言語、挨拶の違い等に気付かせる。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(国旗)
	<p>①Finland フィンランド: Terve.(テルヴェ) ②China 中国: 你好。(ニーハオ) ③Germany ドイツ: Guten Tag.(グーデンターグ) ④Japan 日本: こんにちは。 ⑤Kenya ケニア: Jambo.(ジャンボ) ⑥India インド: "iHQ (ナマステ) ⑦Korea 韓国: 안녕하세요 .(アンニョンハセヨ) ⑧America アメリカ: Hello.</p>		
5分	○世界のさまざまな言語で挨拶をする。 ・世界の言語で挨拶をする。	・児童の実態に合わせて数カ国を選び、「世界旅行に行ってあいさつをしよう！」などと言葉かけをして意欲付けを図り、活動を通して世界にはさまざまな言語や挨拶があることを感じ取らせる。	教師用カード(国旗) デジタル教材
	<p><b>進め方</b> ・挨拶をする国を3~4カ国決める。音楽が流れている間児童は自由に教室内を歩く。指導者は Stop!などと声をかけ、国旗を押さえたり、デジタル教材の映像を見せたりして、国名、例えば、China!などと言う。 ・再び音楽がスタートするまで、中国に行ったつもりで、数名の友達と中国語で挨拶を交わす。他の国でも同様に活動を繰り返す。慣れてきたら、児童に指導者役をさせるとよい。</p>		
5分	○挨拶をして自分の名前を言い、名札をもらう。 ・指導者に挨拶をして自分の名前を言い、指導者から名札を受け取る。	・児童一人ひとりと挨拶を交わし、名前を言わせて名札を手渡す。複数の指導者がいる場合は、分担して行い、1人の場合は活動時間の確保のため、授業前に渡すようにしてもよい。 ・児童が名札を受け取る際には、Thank you.と言うよう促す。また指導者も、渡す際には Here you are.と言い、児童の Thank you.という返事に対して、You're welcome.と返すことを心掛けたい。このようなコミュニケーションを豊かにするやり取りを大切にしたい。	名札(ローマ字で児童の名前を書いた名札を児童数分用意しておく) ワークシート(Unit1-2,1-3めいしカード)
4分	【Let's Chant】Hello! p.3 ・音声を真似てチヤンツを言う。	場面を見せ、把握させる。 ・慣れるまでゆっくり真似て言わせ、指導者も児童と一緒に言う。	
	<p>Hello,(hello,)hello,I'm Emily. Hi, (hi,) hi, I'm Takeru. Let's, let's, let's be mends!</p>		
7分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかつたところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

※外国語活動第1時であることから、目標に向けての指導は行うが、評価の記録は残さない。

目標 目標世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶を交わそうとする。【気・コ】

準備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(国旗)、ボール等、ワークシート(Unit1-1 あいさつビンゴシート)CD(音楽)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
10分	【Let's Watch and Think】 p.2 ・再度映像資料を視聴する。	・前時の誌面を開かせ、それぞれの国の様子や挨拶について想起させ、再度視聴させる。  ①Finland フィンランド: Terve.(テルヴェ) ②China 中国: 你好。(ニーハオ) ③Germany ドイツ: Guten Tag.(グーデンターグ) ④Japan 日本: こんにちは。 ⑤Kenya ケニア: Jambo.(ジャンボ) ⑥India インド: नमस्ते (ナマステ) ⑦Korea 韓国: 안녕하세요 .(アンニョンハセヨ) ⑧America アメリカ: Hello.	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード(国旗)
7分	○【Let's Listen】p.4 ・音声を聞いて、登場人物と国旗を線で結ぶ。	・誌面の登場人物を見て、国名や挨拶を予想させるなどして、活動への興味を高めるようにする。  1 Hello. I'm Olivia. I'm from America. 2 Jambo. Hello. I'm Jomo. I'm from Kenya. 3 안녕하세요.(アンニョンノハセヨ) Hello. I'm Tb-yun. I'm from Korea. 4 नमस्ते (ナマステ) Hello. I'm Anita. I'm from India. 5 Guten Tag. Hello. I'm Leon. I'm from Germany. 6 你好。(ニーハオ) I'm Shin-han. I'm from China.	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(国旗)
3分	○【Let's Chant】Hello! p.3 ・音声に合わせてチヤンツを言う。 ・自分の名前でチヤンツを言う。	・指導者も一緒に言う。 ・慣れてきたら、カラオケバージョンを活用して児童に自分たちの名前を言わせるようにし、英語を使ったコミュニケーションへの意欲付けを図る。 ・慣れてきたら、チヤンツの名前を児童の名前に替えて言うことで、よりチヤンツへの興味が高まると思われる。  Hello,(hello,)hello,I'mEmily. Hi,(hi,) hi, I'm Takeru. Let's, let's, let's be mends!	名デジタル教材 児童用テキスト
5分	○バス・ゲーム ・指導者と挨拶を交わし自分の名前を言う。 Hello! I'm ~.	・数名の児童とデモンストレーションを示し、進め方を理解させる。 ・活動に慣れるまでは指名の仕方に配慮をする。 ・学級の実態に合わせて、全体、グループで行うなど活動形態にも配慮する。	ボール等(バスできる物) CD(音楽)
	バス・ゲームの進め方 ・音楽に合わせて、児童がボールなどを順にバスする。 ・指導者が Stop!などと言った時(音楽が止まった時)に、ボールを持っている児童と指導者が挨拶を交わし名前を言い合う。その際、児童の実態に合わせて、Here you are. Thank you.とボールの受け渡しをすることも考えられる。		

15分	<p><b>[Activity] p. 5</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に歩いて友達と挨拶をして名前を言い合い、相手のテキスト誌面に自身の名前を日本語で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内を自由に歩いて、出会った友達と挨拶をして、名前を伝え合うよう言う。名前を伝え合ったら、相手のテキスト誌面に自身の名前を書くよう指示する。</li> <li>・活動を途中で一旦止める。前半で、指導者は挨拶や名前を言い合う際に気持ち良いやり取りをしていたペアを探しておき、その児童にみんなの前で挨拶等を再現させる。そのペアのやり取りから良かった点を他の児童に発表させ、それらに気を付けて後半をやってみるよう声かけをすることで、後半のやり取りがより相手に伝わるよう工夫したものになることが期待できる。</li> <li>・誌面に挨拶を交わした友達の名前を記載するのは、何人と挨拶ができたかを競うためではないことに留意させる。自分が英語を使って友達と挨拶をしたことが可視化されることで、児童が自分の頑張りを認められるようになるためである。</li> <li>◎名前を言って挨拶をし合っている。〈行動見察・振り返りカード点検〉</li> <li>◎相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わしている。〈行動錫察・振り返りカード点検〉</li> </ul>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 1-1 あいさつビンゴシート)
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード